

# 6月のコンサート

より

◆臼井光太郎ギターリサイタル (東京)  
6月16日ABCホールにて開催された。前奏曲、フーガ・アレグロ／バッハ、ソナチネ／バークレー他の演奏を聴かせてくれた。



◆立川淑男八弦ギターによる  
6月11日ルーテル市ヶ谷センターにて開催された。前奏曲とフーガBWV九十九、一〇〇、前奏曲、フーガ、アレグロB九十九、リニエト組曲四番B一〇〇六以上バッハで、グラナダ、アストリアス、入江のさわめき他アルベニス作品を聴かせてくれた。

◆篠原正志フアーストコンサート (東京)  
6月24日青山タワーホールにて開催された。篠原氏は第十六回ギターコンクールで第一位入賞しており、遅すぎたコンサートという前説があった。しかし、聴衆には、若さとキャリアを積み重ねた演奏で満喫できたといえる。サンスのスペイン組曲バッハのシャコンヌ他ブリンドル、アポステルと新しい作品も聴けた。

された。城勘鈴子、小野孝、羽島彰吉田久、鈴木薫子の出演により、近代作品を演奏してくれた。

◆新しいギター音楽の夕第四回 (神奈川)  
6月30日横浜イギリス館にて開催された。出演は渡辺京子、伊東福雄、松本定芳等による。

◆砧会第五十回記念  
マンドリンとギターの集い (東京)  
6月4日第一生命ホールにて開催された。ギターソロに荘村清志を迎えて開催された。主催は平山英三郎砧会であった。

◆スペイン音楽の夕(東京)  
6月30日渋谷東邦生命ホールにて開催された。ギター小川治夫、ピアノ横山恵津子の出演で、アランプエス協奏曲／ロドリゴ他互のソロを聴かせてくれた。

田秀、山脇知恵、山本洋子、山岸孝教、古川忠由の六名であった。小原氏の音楽家としてのキャリアから若い人達へすばらしい助言を贈っていた。主催は古川律由ギターグループ

◆ギター公開レツスンと講習会 (大阪)  
6月26日西部タカツキ文化教室に小原安正氏を講師に迎え開催された。演奏モデルとして古川昌義、吉

◆渡辺滋生ギターリサイタル (京都)  
6月28日京都府立文化芸術会館にて開催された。ヘンデル、ジュリアーニのギター協奏曲他を聴かせてくれた。

◆小原安正ギター教室 第五十五回発表会 (東京)  
6月12日市ヶ谷ルーテルセンター

◆鈴木巖門下生によるギター  
ジョイントコンサート (東京)  
6月8日東邦生命ホールにて開催

◆第七回古典ギター発表会 (東京)  
6月28日東京文化会館小ホールにて開催された。堀内ギター教室の主催であり、当夜は藤森節子、久保田雅子他の出演で行なわれた。

◆第十三回ギター祭典 (北海道)  
6月5日道新ホールにて開催された。日本ギター連盟の十周年行事に含まれたものとして開催する。アンサンブル、新人の部と続き、最後に大塚房喜、小原安正の二重奏で終わった。

◆青木伸行ギターリサイタル (東京)

6月30日第一生命ホールにて開催された。山口昭三ギター研究所の主催である。青木氏は、第十八回ギターコンクールに第三位に入賞し、以前よりデビューを望まれていた。モンボアの「コンポステラ組曲」、ボンセの「南のソナチネ」他新人らしい演奏を聴かせてくれた。

◆卒碩彦第二回ギターリサイタル (東京)  
6月28日青山タワーホールにて開催された。ディアベリ／アンダンテソステヌート・アレグロ、バッハ／前奏曲、フーガ、アレグロ他が聴けた。

◆定期演奏会 (長崎)  
6月15日長崎市民会館文化ホールにて開催された。ギター合奏を中心に、独奏を含めて聴けた。山口修山下和仁の演奏が輝やきを増していた。

◆第四十七回発表会 (神奈川)  
6月16日藤沢市民会館小ホールにて開催された。あいにくと鈴木俊夫氏の欠場であったが、石村洋、奥田博子氏の演奏が聴け、充実した催であった。

◆第十四回長崎ギター音楽院  
定期演奏会 (長崎)  
6月15日長崎市民会館文化ホールにて開催された。ギター合奏を中心に、独奏を含めて聴けた。山口修山下和仁の演奏が輝やきを増していた。

◆奥田ギター音楽研究所

◆成城大学ギターソサエティー  
第七回サマーコンサート (東京)  
6月24日三鷹公会堂にて開催された。合奏として田鎖大志郎作「ディベルティメント」、金光威和雄「古典組」が演奏された。他独奏、重奏も聴けた。

◆鍋島元子チェンバロリサイタル (東京)  
6月10日日本工業倶楽部にて開催された。J・S・バッハとその周辺と題し、連続四回の内の第二回目にあたり、フランス様式を中心としフランス風序曲、各種舞曲から発展した器楽的表現にあたる作品を聴かせてくれた。次回は十月三十一日、イギリス、ネーデルランド様式を中心として開催される。

◆横浜ギター協会  
第五十六回発表会 (神奈川)  
6月11日横浜イギリス館にて開催された。小船照子氏の門下生発表会である。総二十一人の出演であった。

◆第九回立川アートアカデミー  
ミニコンサート (東京)  
6月30日立川市曙画ろうにて開催された。出演は松下智子で、ミラソンの「二つのパヴァーヌ」、カルカッ

◆第九回立川アートアカデミー  
ミニコンサート (東京)  
6月30日立川市曙画ろうにて開催された。出演は松下智子で、ミラソンの「二つのパヴァーヌ」、カルカッ

◆芳志戸幹雄ギターリサイタル (東京)  
6月30日東京文化会館小ホールにて開催された。今回はソルとウイラロホスを中心に聴かせてくれた。今日では余り聴くことのないソナタ作品二十二番は聴きであった。

◆第九回立川アートアカデミー  
ミニコンサート (東京)  
6月30日立川市曙画ろうにて開催された。出演は松下智子で、ミラソンの「二つのパヴァーヌ」、カルカッ

◆第九回立川アートアカデミー  
ミニコンサート (東京)  
6月30日立川市曙画ろうにて開催された。出演は松下智子で、ミラソンの「二つのパヴァーヌ」、カルカッ

◆第九回立川アートアカデミー  
ミニコンサート (東京)  
6月30日立川市曙画ろうにて開催された。出演は松下智子で、ミラソンの「二つのパヴァーヌ」、カルカッ

**リトルコンサート 第43回**

バイオリン 国弘文枝・竹中恵子 主催  
ギター室内楽協会  
ピアノ 村瀬隆雄  
ギターとビオラダガンバ 石月一匡 (396)6830 石月  
ギター 増田幸作

①バイオリン・ビオラ・ギターのためのセレナーデ長調op.21 ..... キュフナー  
②二つのバイオリンとバスソコンティネオのためのトリオソナタ変ホ長調..... テレマン  
③二つのバイオリン・ビオラ・バスソコンティネオのための協奏曲ニ短調..... トレルリ  
④ギター二つのバイオリン・ビオラ・バスのための協奏曲ハ長調... ヴァーゲンザイル(石月)

1977. 8月11日(休) 7:00 マイスタジオ ¥1,500

**岩村ギター教室**

〒380 長野市上松四丁目三番三十四号  
電話〇二六二(四四)九四〇八番

**小松 清ギター教室**

世田谷区祖師谷一丁目十四一〇  
コーポ池田 二〇一号  
TEL 四八四・五三七六

初歩より専門クラスまで  
完全個人指導



# スポット

★プラス ワン アンサンブル  
レコードが発売!

劔ヤマハ音楽振興会より、ソロを加えて完成するカラオケレコードが発売された。過去ドラム、ピアノの盤が発売されており、今日新にソロ・ギター盤が発売されたものである。曲目は、ある貴紳のための幻想曲(ロドリゴ)よりエスバニョレッタ、アランフェス協奏曲(ロドリゴ)より第二章全章録音をはじめ愛のロマンス、展覧会の絵より古城ほか六曲である。ソロギター用の楽譜もあり、一人でコンチェルトをひいている楽しさを味わえる。

問い合わせ、購入は最寄りの日本楽器支店及び特約店である。定価三千円、オケはヤマハポップスオーケストラ、編曲は前田憲男、萩田光雄他一流アレンジジャーによる。

国からも注目されているが、そのタケミツが親友であるギタリスト荘村清志のために、自分自身が選んだ「12の歌」をギター・ソロ用に編曲し、このほど東芝EMIによってレコーディングされた。「ヤ、高度のエチュード的要素もあり、聴衆を限定をしたところで作曲し、音楽の肉を回復させよう。」という武満氏の創作の根源にかかわる「ユニークな試み」ということである。

楽譜はレコードと同時に全音楽譜よりギター・ピースとして出版される予定で、早くも「富田勲のシンセサイザー」に次いで、「武満徹のギター」編曲版は今年のクラシック・レコード界の話題を呼びそうな気配である。

「12の歌」は次の通り

- A ① ロンドンデリーの歌(ダニーボリー) (アイルランド民謡)
- ② オーバー・ザ・レインボー(H・サマー・タイム)(G・ガリッシュイン曲)
- ③ 早春賦(中田章曲)
- ④ 失われた恋(J・コスマ曲)
- ⑤ ホワット・ア・フレンド(星の界)(C・コンヴァース曲)
- B ① シークレット・ラブ(P・ウエプスター曲)
- ② イエスタデイ(P・マッカート

- ニール曲)
  - ③ ミッシェル(クク)
  - ④ ヘイ・ジュード(クク)
  - ⑤ ビア・ゼア・アンド・エヴリウェア(P・マッカートニール)
  - ⑥ インターナショナル(デヂエテール曲)
- 以上 武満 徹 編曲  
荘村清志 ギター  
10月5日発売予定



★編集長より  
去る6月30日、取材の為、東京でのコンサートを聴きに行ったが、何とこの日はギターリサイタルだけで四カ所行われ、さて、どれを聴きに行ったらと困惑したが、結局は未知の魅力というか、新人のリサイタル

ルに足を運んだ。例年、何か所かの同時日コンサートはあったが、年々盛んになるに従い、この状況をみて今後ともこのようなことがまゝあるのではと思ひ、当編集取材者として何とかならぬのか、そうでないと困つてしまふ。大体、海外の大手ギタリストの来日の際は約一カ年にわたりさける状況にあるが、邦人によるコンサートもホールを予約した段階で早目に何らかの方法で知らせるようになつては如何と思ひながら、ギタリスト諸君如何なものか。

★お断り

水無月無音氏の「ある遠方の友人への私信」は都合により、及び園部三郎氏の「私信試験室」は著者病氣によりお休みします。

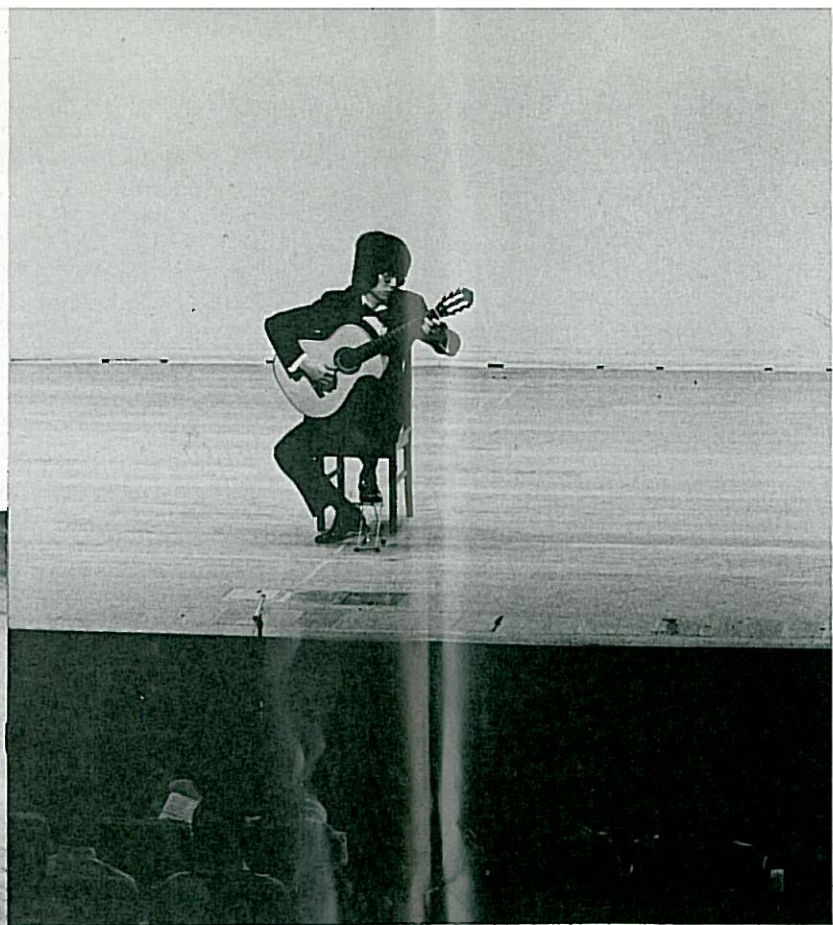
月刊 ギターニュース  
昭和52年8月1日発行 第72号  
発行所 社団法人日本ギター連盟  
東京都中野区中野 2-21-4 〒164  
Tel 03-383-1819  
発行責任者 芳志戸 幹雄  
編集責任者 大畑 正  
印刷 宝堂印刷(株)  
定価 200円

# 6月のコンサートより

## 芳志戸 幹雄

### ギターリサイタル

6/30 東京文化会館(小)



## 青木伸行デビュー

### ギターリサイタル

6/30 東京第一生命ホール